

日本健康心理学会メールマガジン No.12



2013年7月22日 第12号

Contents

- 1) 学会からのお知らせ
- 2) 日本健康心理学会理事選挙結果のご報告

1) 学会からのお知らせ

<http://jahp.wdc-jp.com/>

■学会からのお知らせ

○事業年度の変更について
理事選挙結果にも理由が記述されていますが、
2014年からは、4月開始、3月終了と事業年度が変更になります。

○日本心理医療諸学会連合26回大会のお知らせ (7/2)
9/1@日本大学文理学部 <http://www.jupm.jp/>

○第5回アジア健康心理学会大会登録締め切りのお知らせ (7/3)
<http://www.achp2013.org/html/index.html#tabl0001>

■第26回大会 (@北星学園大学) からのお知らせ

○プログラム速報版
<http://jahp.wdc-jp.com/conf/26th/index.html>

○宿泊のご案内 (7月末まで)
<http://jahp.wdc-jp.com/conf/26th/access.html>
北星学園大学生協 北星トラベルセンター: 011-891-2313
学会準備委員会事務局 (札幌市内のホテル「東横イン」、シングル
10室程度)
担当: 田辺 jahp26@hokusei.ac.jp

○Under 30の会

Under 30の会は、大学院生や若手研究者の交流の場として、今回新たに設定されました。

懇親会への参加も含めて若手の交流を進めましょう)

2) 日本健康心理学会理事選挙結果のご報告 (日本健康心理学会事務局長 竹中晃二)

日本健康心理学会では、先日、理事選挙が行われました (5月1日公示、27日に開票、6月23日の社員総会で承認)。会員の皆様には、この場をお借りして、一般社団法人化されて以後の選挙の内容と今回の理事選挙結果をお知らせします。

本学会は、一般社団法人化を行う際に定款を定め、すべての学会活動はこの定款に従って実施することが求められています。

また、定款の下位規程には、細則・規則が定められており、今回の理事選挙についてもそれらの選挙規程に従って行われました。

一般会員には誠にわかりにくいのですが、法人化に伴って、理事選挙では、

まず全学会員の中から55名の社員 (代議員) が選ばれます。この社員の中からさらに30名の理事が選ばれ、最初の理事会において理事長および常任理事の選挙が行われます。その後、業務を円滑に行えるように、理事長推薦の理事が数名、および常任理事数名が選ばれます。

ただし、社員の任期は4年、理事の任期は2年ですので、4年ごとに社員が選ばれ、同じ社員から2年ごとに理事が選ばれることになります。今回行われた理事選挙は、4年任期の社員の2期目にあたり、社員の入れ替えはなく、現有の社員から理事を選ぶ選挙でした。

法人化された本学会は、歴史的に、一般社団法人化されたとき (選挙は行われず、その前の理事が横滑り) に第1期理事会が、2012年3月に行われた社員選挙、および理事選挙によって第2期理事会が、そして今回の選挙によって第3期の理事会が組織されました。

本学会は、法人化された時が7月であり、そのために事業年度が7月開始、6月終了となっておりますが、官公庁、大学や他学会などの事業期間との整合性が取れないために、先般の社員総会におきまして定款の改正が行われました。2014年からは4月開始、3月終了と事業年度が変更になります。変則的に2013年度は3カ月短く2014年3月までとなり、今回の理事会は2015年3月までとなり、4月には社員選挙が行われ、新しい社員の中から理事が選ばれます。

選挙の結果、またその後の社員総会および理事会で承認された理事は以下の方達です (五十音順、敬称略、所属名略)。

石原俊一、上野徳美、内山伊知郎、大木桃代、大野太郎、大矢幸弘、長田久雄、岸太一、吉川政夫、木村裕、小嶋正敏、小玉正博、坂入洋佑、佐藤豪、島井哲志、嶋田洋徳、清水安夫、杉田秀二郎、杉若弘子、鈴木直人、高島直子、竹中晃二、田中宏二、田中共子、張日昇、津田彰、西垣悦代、野口京子、橋本空、堀毛裕子、宮脇稔、森和代、山田富美雄、山蔦圭輔、余語真夫

日本健康心理学会広報・ニューズレター委員会
<http://jahp-public.blogspot.jp/>

メールマガジンの配信停止、アドレス変更については下記アドレスまで。
日本健康心理学会事務局 <jahp-post@bunken.co.jp>

メールマガジンへのご意見・ご感想については下記アドレスまで。
広報・ニューズレター委員会 <jahp-ML@bunken.co.jp>